

演者紹介及び抄録

みえて来た咬合治療への道 すこやかにエイジングしていただくために 一歯科界として出来ること一



筒井 照子先生 (日本包括歯科臨床学会顧問、筒井塾咬合療法研究会主宰、筒井塾主宰、JACD主宰)

歯科医療とは、病態に陥った原因を探し、取り除き、生体の治癒能を引き出しながら的確な修復処理を行い、さらに治癒能を高めていくものでしょう。生体を治癒に導くには、Stomatology(口腔医学-病態に陥った原因を探し、取り除き、手を貸し、生体の治癒能を引き出す)とDentistry(歯科修復学-崩壊した部分を修復することによって崩壊以前の口腔に戻す)のバランスのとれた両輪が必要です。「口腔の加齢-崩壊と治癒とは」、生体にとって何をしたら崩壊につながり、何をもちって治癒に切りかえることができるのか。昌秀との33年間の臨床の中から得た「口腔治療への道」が具体的に見えて来るようになりました。多くの方にご理解頂ければ幸いです。

筒井臨床総論



飯田 光穂先生 (筒井塾咬合療法研究会インストラクター)

筒井先生は20年程前に顎口腔系を崩壊させる「力」の存在に気付かれ、その「力」がなぜ生ずるのかを長年追求されてきました。そしてその答えが、下顎位を含めた顎口腔機能異常、顎口腔形態の異常だったのです。本日の講演会で、私達歯科医療従事者にしか扱えない顎口腔機能、顎口腔形態が口腔内の健康に留まらず、全身の健康と深く関係していることに皆様は気付かれることでしょう。私は、筒井臨床が理想的機能形態をどう捉えているのか？そして、それを獲得・維持・回復する為にどのようにしているのかを、従来の咬合論との違いを示しながら聞いて頂こうと考えております。

咬合面形態と咬合の再構成



増田 長次郎先生 (筒井塾咬合療法研究会インストラクター)

日本人にとって理想的な咬合面形態をしっかりとからだで覚えておくことが、歯冠修復ばかりでなく、プロビジョナルの修正において、咬合調整において極めて重要です。下顎の機能運動と長年の臨床経験から導き出された咬合面形態とはどんなものか、是非知っていただきたいと思ひます。

診療室のなかでの力のコーディネーターの役割



塩塚 尚子先生 (筒井歯科医院勤務歯科衛生士 力のコーディネーター)

私は、力のコーディネーターとして筒井先生と共に診療を行う中で、歯科衛生士の仕事のほとんどに「口腔の力を読む」ことが必要だと考えています。初診や再診の間診、治療途中、TBI、メンテナンス、カウンセリングなどを行うなかで患者さんが生活習慣によって体のバランスを崩すことに目を向けることはとても大切であると痛感しています。そのことで、筋肉のこりや痛みは勿論、顎関節症、顎位の偏位による顔面の非対称がおこります。また、口腔内でいえば、歯列弓の歪み、歯軸の傾斜がおこることで異常な咬耗、知覚過敏、歯肉退縮、歯周組織の外傷像、歯の動揺、インプラントのボーンロスなどの様々な為害作用をおこします。今回は症例を通じて診療室での力のコーディネーターの役割をお話いたします。

ストマトロジーと咀嚼運動路をベースにした包括歯科臨床の実際



木下 克俊先生 (筒井塾咬合療法研究会インストラクター)

日常においては、日々刻々と変化する患者さんの口腔をいかに壊すことなく、患者さんにとって快適な状態を維持して行くかを念頭に臨床にあたっている。しかし、日常臨床においては、必ず予期したとおりの結果が得られるとは限らない。特に長期的に術後経過を観察すると、単に手技のエラーによるものだけでなく、元々あった咬合崩壊の原因を見落とし、解決していなかったためにトラブルを起こしてしまったケースが少なくない。咬合においてトラブルを起こす原因としては、1)咀嚼運動路における問題点の存在 2)咀嚼運動に影響を与える力の存在(態癖やパラファンクション)が多いと考えている。臨床において、上記の2点を念頭に置いて審査診断を行うことで、咬合崩壊の原因が明確になり、また、治療後も上記の2点に気を配りながらメンテナンスを行うことで、修復物のLONGEBITYにもよい結果を及ぼしていると感じている。今回は、咬合のトラブルをおこす原因を考えるきっかけになった症例と、15年良好に経過した症例をベースに当院における臨床の実際を提示し、諸兄に教えを乞うものである。

新刊



クインテッセンス出版
「包括歯科臨床 II 顎口腔機能の診断と回復」

出版物



クインテッセンス出版
「包括歯科臨床」



クインテッセンス出版
「態癖-力のコントロール-」



医歯薬出版
「顔-からだ-バランスケア」



クインテッセンス出版
「イラストで見る筒井昌秀の臨床テクニック」

DVD



クインテッセンス出版
「DVD版 包括歯科臨床」



「筒井昌秀臨床DVD①②③
歯周再生療法とその応用」

- ①エステティックゾーンの歯周形成外科と審美補綴
- ②歯周再生療法とその応用
- ③筒井昌秀臨床DVD3 インプラント周囲軟組織のマネジメント